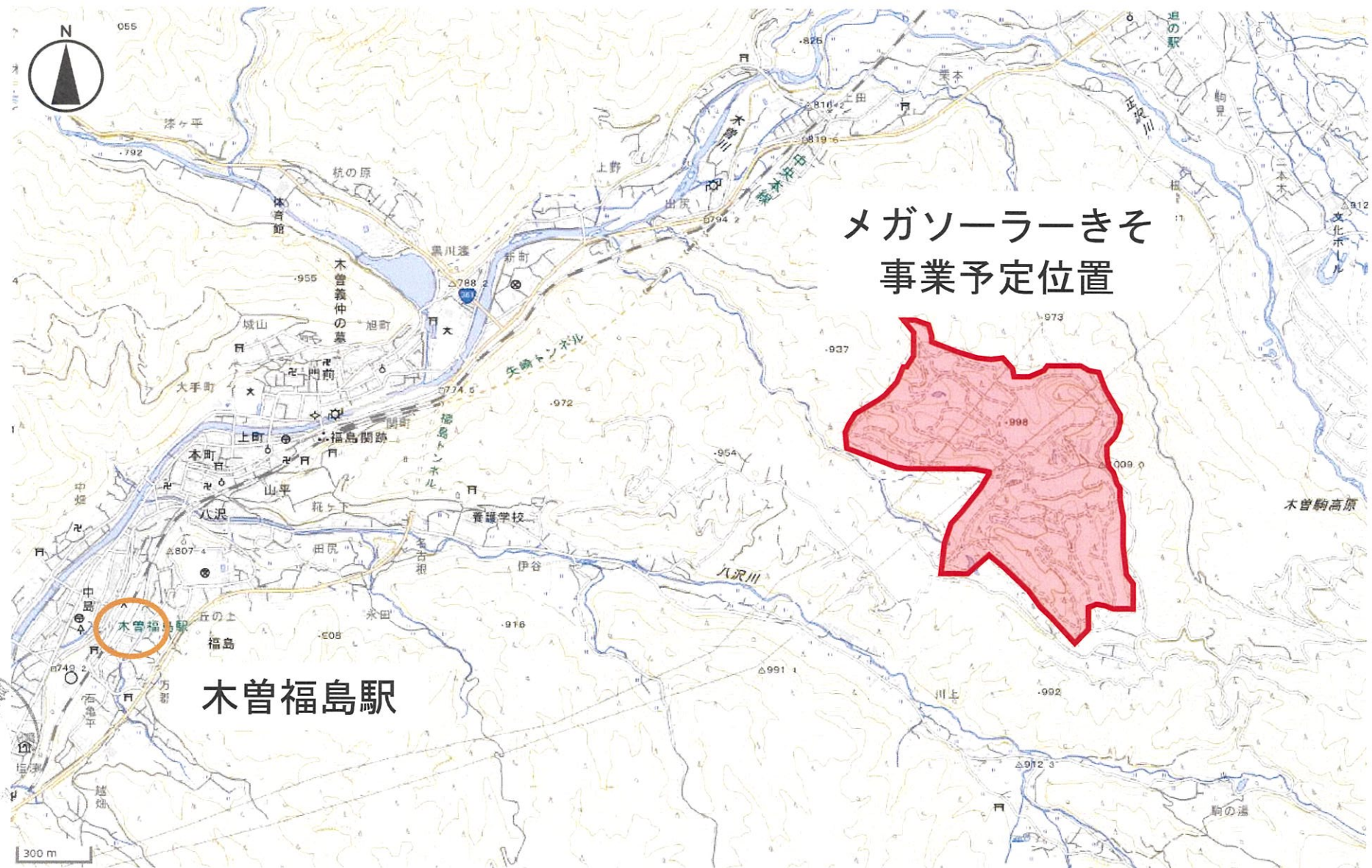


事業位置 案内図



メガソーラーきそ
事業予定位置

木曾福島駅

行為前の状況 キビオ峠展望台

行為地の方向、山林により展望地点からは事業エリアは確認できない。



完成予想図

完成予想図 キビオ峠展望台

行為地の方向、山林により展望地点からは事業エリアは確認できない。



(参考様式第1号)

眺望点関係者説明状況報告書

説明者	氏 名	中部電力株式会社 再生可能エネルギーカンパニー プロジェクト推進部 太陽光グループ		
	住 所	愛知県名古屋市東区東新町1番地		
眺望点	眺望区域	キビオ峠展望台		
	眺望点位置	キビオ峠展望台		
説明を行った関係者等		木曽町役場観光商工課観光係		
実施日時		2025年2月14日(金) 13時～14時	説明方法	訪問による説明
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)				
番号	意見		配慮・見解	
1	木曽町役場側でもキビオ峠展望台から、当該事業地域から眺望出来ないことを確認した。		承知した。 ご説明させていただいている通り、当社側でもキビオ峠展望台から当該事業地域が眺望出来ないことを確認している。	

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。



(参考様式第2号)

行為地周辺地区等説明状況報告書

説明者	氏 名	中部電力株式会社 再生可能エネルギーカンパニー
	住 所	愛知県名古屋市中区東新町1番地
説明対象とした範囲 (自治会、地区名等) 及び戸数	木曽町伊谷自治会 木曽町中部自治会	
上記を説明対象とした理由	行為地が伊谷地区、中部地区に近接しており、事前説明が必要であると判断したため。	
住民説明等の方法	公開での自治地区毎の住民説明会を開催	
実施日時	2024年6月23日(日)14時～15時	
参加又は実施者数 (人もしくは戸数)	6人	
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)		
番号	意見	配慮・見解
	景観関係に関する意見及び質問等は無し。	

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。



(参考様式第2号)

行為地周辺地区等説明状況報告書

説明者	氏 名	中部電力株式会社 再生可能エネルギーカンパニー
	住 所	愛知県名古屋市中区東新町1番地
説明対象とした範囲 (自治会、地区名等) 及び戸数	木曾町町組自治会	
上記を説明対象とした理由	行為地が町組地区であるため。	
住民説明等の方法	公開での自治地区毎の住民説明会を開催	
実施日時	2024年6月22日(土) 18時～19時	
参加又は実施者数 (人もしくは戸数)	8人	
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)		
番号	意見	配慮・見解
1	フェアウェイに太陽光発電設備を設置後の草の処理はどうするのか。	除草剤の使用はせずに、草刈りを年1-2回ほど想定している。
2	山火事が発生することはないか。	適切な除草を行い発電所の管理をする。中部電力にて管理している発電所で火災発生はない。

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。



(参考様式第2号)

行為地周辺地区等説明状況報告書

説明者	氏 名	中部電力株式会社 再生可能エネルギーカンパニー
	住 所	愛知県名古屋市東区東新町1番地
説明対象とした範囲 (自治会、地区名等) 及び戸数	木曽町大原自治会	
上記を説明対象とした理由	行為地が大原地区であるため。	
住民説明等の方法	公開での自治地区毎の住民説明会を開催	
実施日時	2024年6月23日(日)18時～19時	
参加又は実施者数 (人もしくは戸数)	7人	
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)		
番号	意見	配慮・見解
1	景観上の問題はないか。	周辺は森林に囲われており、問題ないと考え。また、キビオ峠からの展望を確認しており、当該事業地域が見えないことは確認している。

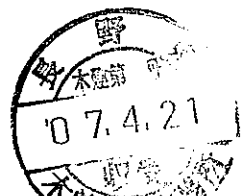
※注1 説明に使用した書類を添付してください。

※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。



太陽光発電施設の設置にあたっての配慮事項

項 目		配 慮 事 項	配慮した内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないよう、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	大規模な敷地造成を実施せず、埋設電線等の埋戻し、不陸整正のみを実施する造成計画こととした。また、既存の樹木等も大規模に伐採を行わず、太陽光パネルを設置する配置計画とした。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、必要に応じて完成予想図の作成(シミュレーション)等の実施を検討する。	木曽駒高原宇山カントリークラブの跡地であり、周囲を樹木で覆われている為、公的な眺望点からは視認できない。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	太陽電池モジュールを隣接する住宅の敷地より 50m 離し設置。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	ゴルフ場跡地のコース上にモジュールを配置する為、大規模に連続した配置ではありません。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	冬季の積雪を勘案し、パネルの最低部分を 1.0m 最高部分は 2.726m とした。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	主要な道路や公共的な眺望点からは見えない。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	効率の良い角度で揃えて配置した。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	パネルの角度は 20 度として極端な角度は避けた。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	事業用地の外周は樹木に覆われているため、周辺からは視認できない。



項 目		配 慮 事 項		配慮した内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を 施す等、太陽光の反射を低減する対策を 行う。また、素材の結晶が目立たないもの を選択する。		モジュールガラスに防反射膜 を使用。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩 度の目立たないものとする。		黒色を選択した。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	アルマイト処理したフレーム を採用。
			(2) 太陽電池モジュールと同 系色を用いる。	アルマイト処理したフレーム を採用
付属設備		(1) フェンス等については、色彩、形態・意 匠に配慮する。		発電所外周フェンスの一部 (道路に面してる箇所)にブラ ウン色を使用。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させ ないよう、低減に努める。		新設はしない。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧 器等の付属設備については、色彩等に配 慮する。		クリーム色系で統一
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発 揮できるよう、根巻きを行った苗などの 使用を検討するとともに、植栽間隔や苗 木の大きさに配慮する。		最低限の伐採にとどめる為、 植栽は行わない。 ただし立ち枯れした樹木があ る場合は、伐採後の植栽を行 う。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低 木性の樹種を避け、地域に適した植生と する。		周辺の樹木に合わせて同種を 植栽する。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地 に反射光の影響が懸念される場合は、配置 や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へ い措置について検討する。		事業用地は樹木に囲われてい るため、反射の影響は少ない と考えられる。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を 行うなど、適切に維持管理を行い、景観の 保守に努める。		維持管理計画に沿って管理を 行う。

なお、上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方
法を工夫してください。